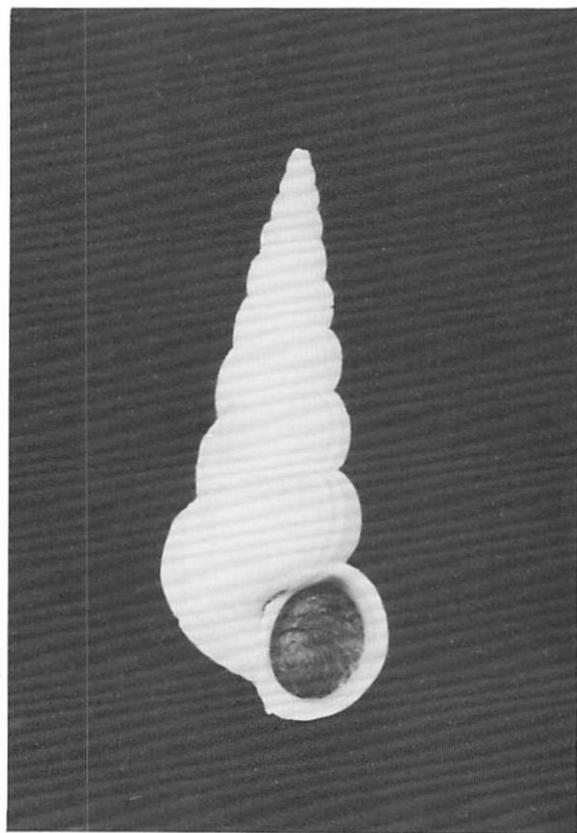


高川コレクションのオホーツクイトカケガイ

現在博物館には、自然科学資料として多数の貝類が収蔵されている。ここに紹介する資料は、高川コレクションのオホーツクイトカケガイである。



オホーツクイトカケガイ

オホーツクイトカケガイは、異腹足目イトカケガイ科に属し、殻は固く大形、高円錐形で白色の巻貝である。螺層（らそう）は10層以上でホッキョクイトカケガイなどに比べふくらみは弱い。北海道、オホーツク海など北太平洋にかけ分布している。個体数が少なく、愛貝家には珍品として人気があり北の海の有名な貝の一つである。

この標本は、殻高89.5mm、殻径34.5mmでオホーツクイトカケガイの中でも大形の方である。殻の傷みもなく縦肋（じゅうろく）もしっかりとしており状態の良い標本である。採集地は北知床沖（北緯49度7分、東経144度58分）、水深210mである。

高川コレクションにはこの他、同じイトカケガイ科のホッキョクイトカケガイ、二枚貝では紅色の美しいオーロラニシキガイなどが収蔵されている。

これら標本を収集し、昭和44年に博物館へ寄贈された高川金次氏は北洋トロール船の通信士をされており、魚網についてくる貝に興味を持って集めはじめ、昭和41年には日本貝類学会会員となって活躍しておられる。

高川氏が採集した標本は、採集年月日、場所などが正確に記録されており、また巻貝の同定に必要なフタもついていることなど標本として貴重である。

昭和58年度特別展「北の夜明け展」開催される

例年5月初めから6月末日にかけて、市立函館博物館本館で行なわれていた特別展が、久し振りに五稜郭分館で昭和58年8月2日から9月30日にかけて52日間開催された。共催者となった社団法人霞会館が永らく調査してきた明治維新にかかわるものである。霞会館の会員である公家・大名の子孫が所蔵していた、丁度ロシア使節ラックスマンが根室に來航した寛政4年から箱館開港に至る資料を主に展示することとなった。ロシア使節レザノフ、グローニン、ブチャーチン、アメリカ使節ペリーなどの外交関係と、併せて北辺警備・開拓などの資料を展示する会場として五稜郭の分館ほど適当な場所は外になかろう。

展示資料の内容は、昭和58年6月15日から7月15日まで北海道開拓記念館の「幕末の北辺展」で展示したものに一部加除して、また当館で調査準備した資料として市内の所蔵者および当館蔵のもの17件(25点)、市立函館図書館の38件(49点)を加わえて、総数161件(227点)の出品となった。

主なものは、松平定信・阿部正弘・堀田正睦・井伊直弼などの老中・大老の資料、他は公家として堤維長資料、これに水戸徳川、南部藩などの資料である。大部分の資料は初公開で学術的にも極めて重要なものが揃い、特に阿部家の「文化八年久那志里登麻里ニ來り所捕魯西亞人加毘丹」の図や同じく「下官」の図などが人気を集めた。

霞会館の資料展示委員会のメンバーが交替で、当館職員



特別展風景

と共に観覧者への応対・説明を行ない、資料の管理および監視に携わった。丁度、夏休みの観光シーズンということもあって多くの観覧者があり、大人16,375人(含団体)、小人3,023人(同)計19,398人の入館であった。但し、大人に比べて小人が少なかったため、今後学校教育関係と連絡を保ってゆかねばならない。

「北の夜明け展」の名称のとおり、観覧した方々に北の守りと、西欧諸国との交易の要であった箱館を理解してもらうことができた。

企画展

「なつかしのポスター展」について

夏の観光シーズンから、静けさがもどりつつある初秋の頃、9月3日から9月27日までの約1か月間にわたって昭和58年度企画展「なつかしのポスター展」が郷土資料館において開催された。今回の企画展は市立函館図書館所蔵のポスターの内、大正時代を中心に明治末期から昭和初期までの商業に関するポスター44点を抽出、展示したもので、これらのポスターを通じて当時の生活の一端を見てもらうというものである。



展示風景

ポスターは、文明開化の申し子である。新時代商法が商いのイメージチェンジをはかる一方、強力な広告効果が必要となった。そこで、引札や看板などの利点をミックスしたようなポスターを競って作りはじめた。そこには製紙や印刷の手仕事から機械化への交替劇もあった。しかし、なぜかモチーフは美人が多く、ポスターではなく、絵看板あるいは絵紙と呼ばれていた。

これら絵紙が当時の生活の中にどのように生きついていたかは、「初売りには店先で午前3時ごろから待つのです。なぜかといえば、景品をもらうために早くから順番を待ち、何銭買っても景品がもらえました。今ではポスターとして、どこでもありますが、あの頃はかざられた所より出ないので、それをもらって台所や茶の間に貼って楽しんだものです」という古くから函館に住んでいる人の話しから知ることができる。

百貨店を「勸工場」と言った時代と現在とは風俗も変わり、印刷技術も格段の差がある。しかし、ポスターの見る側を魅了するポイントがいつの時代でも美人の微笑にあるという点では共通しているのではないだろうか。

なお、本企画展は市民講座「なつかしのポスター学習会」の受講者とともに行なったもので、博物館が市民との共同学習の場であることを意図しており、受講者の成果を企画展に盛り込んでいる。

事業報告 (58.1.1~58.12.31) 抄

◎資料管理・整理・保存

○受入 (一部昭和57年のものを含む)

- せにかたあざらし 1点
【函館ドックKK函館造船所長平林雅男氏寄贈・函館市弁天町20-3】
- 夢ヶ丘俳句 巖谷小波筆 軸装 1点
【川村兼悦郎氏寄贈・函館市元町24-3】
- ピアノ 1台
【平塚千鶴子氏寄贈・函館市湯川町2丁目8-30】
- 木化石 1点
【藤戸正八氏寄贈・函館市大縄町16-24】
- 脇差 他 6振
【伊藤直房氏寄贈・函館市湯川町3丁目49-14】
- 絵はがき 他 2件6点
【秋場大秀氏寄贈・函館市千代台町28-10】
- 炬ふち 他 5点
【村山徳治氏寄贈・函館市広野町6-407-41】
- 寒山拾得 榎本武揚筆掛軸 他 3件23点
【末広町会長中村栄三氏寄贈・函館市末広町4-23】
- 鶴首花瓶 1点
【平野正三氏寄贈・函館市谷地頭町36-4】
- 通信土木設備 1基
【函館電報電話局長杉山一郎氏寄贈・函館市東雲町14-8】
- 橋名板 2件9点
【函館市土木部から保管替】
- 絵模様入鏡 1点
【高市道也氏寄贈・函館市白鳥町13-2】
- 脇差(中島三郎助遺愛刀) 1振
【真貝新一氏寄贈・夕張郡栗山町中央2丁目41】
- 花見人形 他 6点
【酒谷鉦五郎氏寄贈・函館市花園町16-12】
- ひな人形道具類 7件22点
【杉野幸七氏寄贈・函館市人見町5-27】
- 郵便はがき 他 3件37点
【小野 光氏寄贈・函館市亀田町17-24】
- 土器 他 3件 188点
【函館東高等学校郷土史研究部池田高嶺氏寄贈・函館市柳町11-5】
- 舟形皿 14点
【館 和夫氏寄贈・函館市花園町10-14】
- 明治2年5月11日箱館戦争図 他 9点
【市立函館図書館から保管替】
- 煙草盆 1点
【組替受入】
- 旧小川合名会社関係文書等 一括
【小川靖彦氏寄贈・函館市弁天町17-15】
- 足駄 1点
【村岡 沂氏寄贈・函館市乃木町7-8】
- レコード 他 2件53点
【工藤明治氏寄贈・函館市湯川町2丁目25-2】

- 横一行書 額装 1点
【若狭天真氏寄贈・函館市宝来町6-9】
- 白色花文花瓶 他 32点
【渡辺定範氏寄贈・函館市湯川町2丁目3-22】
- アイヌ民族の衣服 1点
【中田とさ子氏寄贈・函館市末広町18-4 マンション函館306】
- 仕掛け銃 1点
【花巻源一郎氏寄贈・亀田郡大野町字市渡142-2】
- わら草履 他 4点
【藤沢吉三郎氏寄贈・函館市石川町134-40】
- 木靴(サボ) 1足
【宗教法人天使の聖母トラビスチヌ修道院寄贈・函館市上湯川町346】
- 雙硝子徳利 他 3件11点
【大橋勝雄氏寄贈・函館市中道1丁目4-19】
- 男子用羽織 1点
【石倉サタ氏寄贈・函館市桔梗町340-21】
- 書(勝 海舟) 1点
【小原ミヨ氏寄贈・函館市日吉町4丁目17-23】
- 七条袈裟 1点
【堀江利剣氏寄贈・函館市湯川町1丁目26-23】
- 銭箱 1点
【大橋勝雄氏寄贈・函館市中道1丁目4-19】
- 足踏マシン 1台
【吉田公子氏寄贈・函館市港町3丁目10-4】
- スキー 他 6点
【出村好重氏寄贈・亀田郡七飯町緑町19-1 吉村寿幸方】

○整理

- 考古資料整理(6月15日~7月9日)
児玉コレクション整理(1月~12月)
自然科学資料整理(11月5日~12月)

○保存

- ばく涼
本館(10月18日~29日)、分館(10月8日~20日)、資料館
(10月1日~7日)
※資料くん蒸(10月20日~23日於本館)

○貸出

- ・函館市北洋資料館に資料31件貸出(4月1日~1年間)
- ・特別展「北前船と大阪」に民俗資料3件7点貸出(7月17日~8月31日・大阪市立博物館)
- ・特別展「発掘された北の文化展」に考古資料2件4点貸出(8月2日~10月2日・北海道開拓記念館)
- ・函館市北洋資料館に資料16件30点貸出(9月16日~10月30日)
- ・函館市文化祭に美術資料14点貸出(11月2日~6日・函館市民会館)

◎展示

- 特別展
北の夜明け展(分館8月2日~9月30日)
- 企画展

ひな人形展（資料館 2月12日～3月3日）
 新収蔵資料展（本館 5月1日～5月15日）
 よろい・かぶと展（分館 5月1日～5月15日）
 なつかしのポスター展（資料館 9月3日～9月27日）
 昆虫展（分館 10月23日～11月10日）

◎教育普及

○市民講座

五稜郭築造と箱館戦争（6月3日～17日・3日間）
 ヒラポスターの学習会（6月12日～7月24日・4日間）
 母と子の土器をつくる会（8月4日～18日・4日間）
 アイヌ民族の服飾（9月10日）

○科学教室

星座観測会（5月7日・7月7日・10月8日・10月29日）
 プラネタリウム見学会（6月11日）
 植物野外観察会（6月25日・8月3日）
 昆虫採集入門（7月24日）
 惑星観測会（8月20日）
 初歩の電気（9月10日）
 月の観測会（9月21日）
 昆虫飼養と講演会（11月5日）

○出版

3月5日 館報「サラニップNo.22」発行
 3月20日 児玉コレクション目録「先史・考古資料編」発行

○調査・視察・団体観覧

1月22日 苫小牧市社会教育部長視察
 2月8日 秋田県埋蔵文化財センター資料調査
 3月12日 根室北方資料館中村事務局長調査
 3月16日 青森県埋蔵文化財センター資料調査
 3月20日 岩手県埋蔵文化財センター資料調査
 3月26日 北海道開拓記念館野村資料管理課長資料調査
 5月25日 青函市民文化交流視察
 6月19日 北海道文化財保護協会一行視察
 7月8日 北海道五稜郭養護学校一行観覧
 8月6日 沖繩県知事西銘順治氏夫妻視察
 8月23日 女子栄養大学松浦図書館長視察
 9月1日 道立近代美術館倉田館長視察
 9月29日 青森県博物館等協議会一行視察
 10月5日 青函市民文化交流婦人視察団視察
 10月6日 東京都中央区議会議員視察
 12月4日 北海道埋蔵文化財センター資料調査
 12月7日 北海道教育庁橋本社会教育部長、道立近代美術館武田学芸部長美術資料調査
 12月10日 十和田市内国内研修生視察

○写真撮影

博物館資料の写真撮影 72件

○実習生受入

弘前大学（7月12日～19日）2名
 静岡大学（7月12日～19日）1名
 東北福祉大学（7月12日～19日）2名
 東北学院大学（8月2日～10日）1名
 跡見学園女子大学（8月2日～14日）1名

◎調査活動

「五稜郭」「箱館戦争」の調査研究並びに資料収集
 西部地区の歴史的調査研究並びに資料収集

◎会議出席

○博物館協議会

博物館協議会開催（1月27日・9月22日）

○博物館大会

北海道博物館大会に今岡主事出席（6月24日～25日・岩内町）

日本博物館協会館長会議・総会に加納館長出席（6月28日～29日・東京都）

◎人事異動

谷口幸一嘱託、宮崎正太郎嘱託、高橋 清嘱託発令（4月1日付）

池田敏春主事社会教育課に異動（4月19日付）

宮崎正信見習発令（4月19日付）

野村 清主事発令（7月1日付）

宮崎正信見習戸籍課に異動（7月1日付）

◎その他

1月27日 文化財防火デー防火訓練

8月2日 霞会館理事長竹田恒徳氏、常務理事大迫尚一氏、展示委員長内田正明氏、展示委員近藤真和氏、松平乗昌氏、学芸員浅沼桂子氏特別展のため来訪

入館者統計

昭和58年常設展示（58.1.1～58.12.31）

月別	館別	本館	五稜郭分館	郷土資料館	計
1		222	526	233	981
2		281	1,385	606	2,272
3		766	2,167	810	3,743
4		1,388	2,819	465	4,672
5		11,397	12,726	1,160	25,283
6		9,184	13,690	845	23,719
7		1,686	6,220	1,261	9,167
8		2,726	特別展	2,442	5,168
9		1,631	特別展	1,736	3,367
10		798	926	743	2,467
11		478	1,781	466	2,725
12		113	404	137	654
計		30,670	42,644	10,904	84,218

昭和58年度特別展五稜郭分館（8/2～9/30）

月別	個人	団体	計
8	11,309	925	12,234
9	5,166	1,998	7,164
計	16,475	2,923	19,398

Hakodate City Museum News

SARANIP -サラニップ- No.23 1984. 3. 5 発行

編集・発行 市立函館博物館（TEL0138-23-5480）

北海道函館市青柳町・函館公園内（〒040）